



令和6年度  
福島小学校だより

ふくしま

第3号 7月19日  
八女市立福島小学校  
校長 郷田 純一

## 学校行事等へのご協力に感謝いたします！

4月8日(月)にスタートした令和6年度の教育活動も、早いもので4ヶ月が経とうとしています。

保護者の皆様におかれましては、PTA 総会やスポーツフェスタ等へのご協力、ありがとうございます。また、地域の皆様におかれましては、常日頃からの登下校の見守り、授業への応援、青少年健全育成会等へのご参加などご支援をいただきました。改めまして感謝申し上げます。

明日からは夏季休業となり、ご家庭や地域で過ごすことが多くなります。本日の全校集会において、私からも「事故には十分に気をつけ、8月6日(火)の出校日、8月26日(月)の始業日には元気に登校すること」という宿題を出しています。今までの生活リズムを維持できるよう、引き続きご協力をお願いします。

## 成果指標「廊下を走る子どもの減少」：73%達成

年度当初に、「安全に生活する子ども」を目指し、「廊下を走る子どもの減少」という成果指標を出していました。4月当初から5月にかけては、授業参観やPTA総会、スポーツフェスタなどといった年度当初の学校行事に取り組んでいた上に、ゴールデンウィークというお楽しみもあり、廊下を走る子どもたちも多かったです。楽しいことはいいことなのですが、けがの未然防止のため校内放送で廊下を静かに歩くよう指導したこともありました。

そこで、6月24日(月)から7月5日(金)にかけて、保健委員会の子どもたちと一緒に「ろうかを歩こうプロジェクト」を実施しました。1～3年生は8割、4～6年生は9割という高い目標を掲げ、達成できたらチェック表にシールを貼るようにしました。

その結果、全クラス平均達成率が73.3%という予想以上の成果を上げることができました。

廊下を歩く子どもが増加したのも、子どもたちが工夫を凝らした標識、ポスターを作成して掲示したり、教職員も含めてお互いに声を掛け合ったりしたからだと思います。

安全に生活を送ることは、教育活動の基本です。今後も継続して取り組んでいきます。

## 成果指標「めあてを自力で見出す」：88%達成

同じく、年度当初に、「学習内容を身につけた子ども」を目指す第一歩として、「めあてを自力で見出す子ども」という成果指標を出していました。学習すべきことを先生に指定されるのではなく、学習すべきことを自分たちで決定するという子どもたちの主体的な学びを目指す取組です。

そこで、7月1日(月)から7月5日(金)にかけて、国語と算数で実施しました。目標はクラスごとに設定し8割程度が多かったようです。達成できたらチェック表にシールを貼るようにしました。

その結果、全クラス平均達成率が88%という大きな成果を上げることができました。

これも、昨年度(7割目標)の積み上げ、国語・算数におけるめあてを導く手順の共通理解等があったからだと思います。めあてを発表する姿＝自力で課題を見つけている姿は本当にかっこいいです。

後期は、まとめを自力で見出せる子どもを目指して取り組んでいきます。

### 【LEBER(リーバー)及び八女市公式 LINE への登録のお願い】

リーバーへの登録とともに八女市公式ラインへの登録も推奨しています。避難情報が発令されれば自動的にLINEに情報が受信されます。午前6時の時点で、福島小校区に警戒レベル4「避難指示」以上が発令されれば休校となります。